

第 1475 回例会報告

平成28年9月8日(木)雨

会長挨拶

会長 河西達雄

人を感動させる話のむずかしさ

「電車の座席はほぼ埋まり、車内には立っている人がちらほらいる程度

私の向かい側座席の前には男性1人、女性2人のハイキング帰りらしい高齢者が立っていた。

彼らの目の前の座席には若者2人と50代ぐらいの女性1人が座っている。若者は2人とも茶髪、1人はサングラスをしていた。

この人たちに気づいたのは、この高齢者組の男性が「最近の若い者は年寄りを立たせても平気なんだから」「ちょっと前は罪悪感からか寝たふりをしたもんだが、最近じゃ寝たフリもしないからふてぶてしい」などと、かなり大きな声で話しているのが耳に入ってきたからだ。

どうも自分の前にいる若者に席を譲らせて女性2人を座らせたかったらしい。

ここまで嫌味っぽく言われると、まったく関係ない第三者の私だってちょっと気分が悪い。すっかり眠気が覚めてしまった。反対側にいる私が席を譲れば、もう1人ぐらい誰か立ってくれるだろうと思って腰を浮かせかかった瞬間、サングラスの若者が口を開いた。

「あんたたちさあ、山は歩けるのに電車では立てないの？それっておかしくない？遊んできたんだろ？こっちはこれから仕事に行くところなんだよ。だいたいさあ、俺みたいなヤツが土曜日も働いて

あんたたちの年金を作ってやってるんだって分かってる？俺があんたみたいなジジイになったら年金なんてもらえなくて、優雅に山登りなんてやっていられないんだよ。とにかく座りたかったらシルバーシートに行けよ」

細部の表現は覚えていないながら、こんな感じ。チャラチャラしているように見える若者の意外な発言に正直言ってビックリ仰天した。

「お年寄りに席を譲りましょう」とか「お年寄りを大切にしましょう」などというキレイごとを聞いて育ててきた世代の私にしても、彼の言っていることは正論に聞こえた。

3人の高齢者は凍りついたように黙りこくり、次の駅で降りていった。ほかの車両に乗り換えたのかもしれない…」

敬老の日になんだ話をしようと考えていたがなかなか話がまとまりません。1日唸っていてもまとまらないので、思わずネットで検索していたらこの話がでてきました。この話を「自分の経験のように話ちゃえ」と思いましたが、小心者の私にはそういう勇氣もありません。毎週会長挨拶に苦しんでいます。人を感動させる話をするとは難しいとつくづく思います。

この話をした後で、賛成の人、反対の人、年寄りも若者も間違っている、などいくつかの意見をお聞きしました。ますます難しく感じました。

◇幹事報告◇

【理事会報告】

10月度の例会予定が決まりました。お知らせします。

■出席報告

会員数	38名
出席対象	37名
出席者数	31名
出席率	83.8%
前回修正	94.4%

■ニコニコBOX

4名	10,000円
累計	99,300円
目標額	60万円
達成率	16.6%

■今週のことば

誕生祝いありがとうございます。いたずらに年をとり、お荷物になっています。 尾上正弘

孫娘が信州書道展で、特別賞文部科学大臣賞を受賞しました。 林 洋三



月	日	回数	内容	担当
10月	3	1477	3クラブ合同例会(夜間)	会長・幹事 クラブ奉仕委員会
	6		休会	
	13	1478	ロータリー財団について 会員卓話	国際奉仕委員会
	20	1479	米山奨学生卓話	国際奉仕委員会
	27	1480	諏訪湖のトンボはなぜ減少したのか・外部講師卓話	社会奉仕委員会
11月	3		休会	

を見たいという子供たちの要望に応え、森山君、萩田君とともに水中カメラを持参し、子供たちと中庭に作った4メートル四方の池で水中探査を行いました。この池は諏訪湖同様にアオコが発生して濁り、水中に植えた植物はかすかに見えてましたが、魚影を見ることはできませんでした。



2)今月の例会について

9月28日(木) 夜6時30分 ぎん月夜間例会

10月3日(月) 夜6時30分 ライフプラザマリオ

詳しい連絡は15日以降にそれぞれFAXされます。

第 1475 回例会

仏教いろいろ

坂村龍玄会員

担当 クラブ会報・雑誌広報委員会

本日は僧侶であります坂村龍玄会員に仏教にまつわる楽しいお話をお聞きました。日常的に使われている言葉の中に多くの仏教用語が生きていたり楽しい卓話でした。



高島小学校2年1組 授業に参加して

社会奉仕委員会

9月8日子供たちが育てている魚、フナ、鯉、モロ、めだか、ドジョウ、ザリガニ等々の水中生態

廊下や教室に置かれた水槽の水は透明度が高く、カメラ・テレビを通して魚影をはっきり見ることができ、カメラの装置には問題がないと判断しました。

池の中が見えないということが分かったということからなぜ池の中が見えないかということに問題意識が発展していけばよいと思いました。

数日前、この池は、にわかに透明度が上がり澄んで、池の中の魚が大半死んでしまったと子供たちが話してくれました。諏訪湖でワカサギが大量死した現象と似ています。この池は、まさに Mini 諏訪湖といった感じです。但し、スス水現象が起きた時、池の水には水道水を使っていたので、塩素殺菌に原因があるのかもしれないとロータリーの識者は言っています。

子供たちからは、水槽で育てている魚がテレビ画面に大きく映されることで泳いでいる様子がよく見えてよかったと感想が述べられました。

先生からロータリークラブって何をする団体ですかという質問もあり、「諏訪湖をきれいにする運動」と、「外国の子供たちと日本の子供たちを交流させる活動」などしていると、宣伝しておきました。

最後に、フィリピ

ンの子供たちに比べ日本の子どもたちは、おとなしく、引っ込み思案だという先入観がありましたが、日本の子供たちも、みんな元気で好奇心旺盛で、カメラ操作など新しいことに挑戦しようという性向も覗われ、良いなと思ったものです。